

認定NPO法人修復的対話の会主催  
修復的対話サークルを学校で実践するために対話の研修会

2024年3月20日(水祝)  
10:00~16:30

# 小学校での実践

## ～協働事業による取り組み

酒田市教育委員会学校教育課 (こども家庭センター兼務)  
主査 杉山 義法 (社会福祉士・公認心理師)



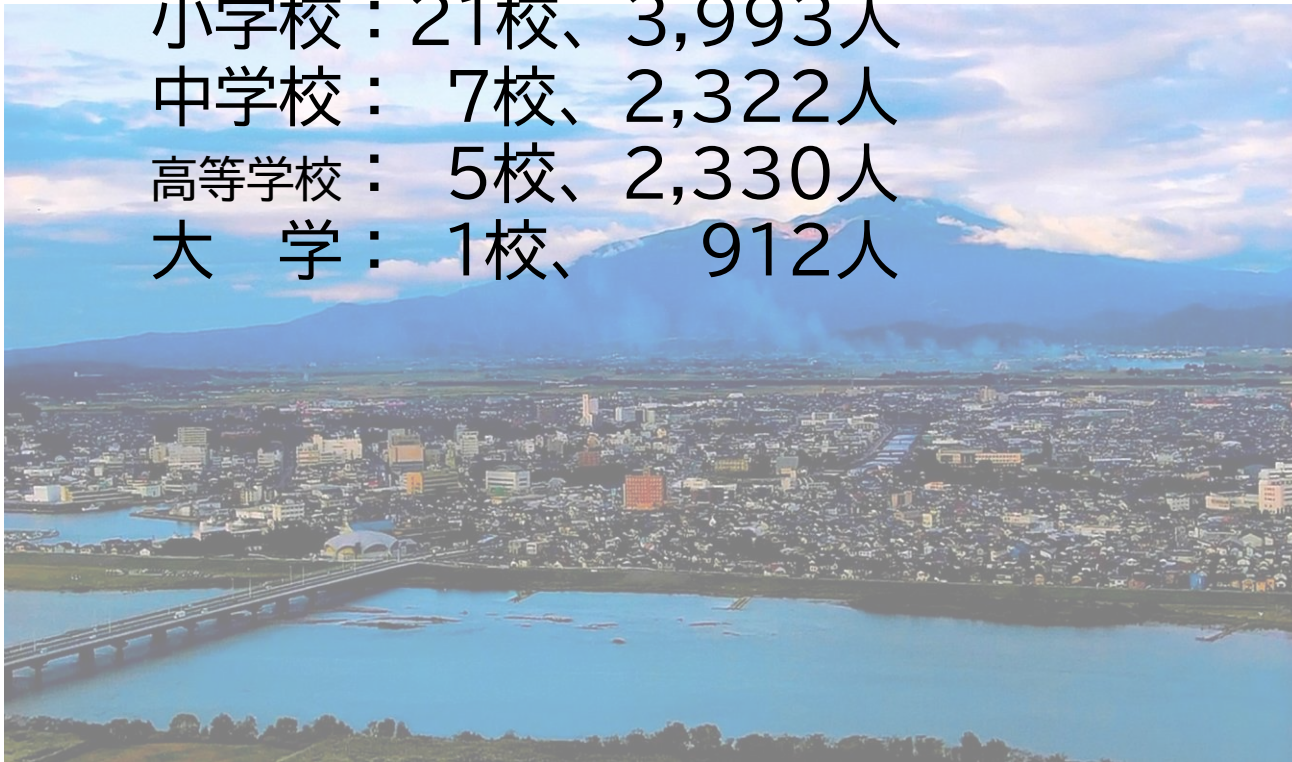
# 本日の内容

1. これまでの「かかわり」(導入までの経緯)
2. 協働事業による試み(協働事業の概要)
3. R Jサークルの実践報告
4. 事後アンケートより



# 山形県酒田市ってどんなところ？

- 人口 96,665人（令和5年4月末現在）
- 学校等の状況（令和5年5月1日現在）
  - 小学校：21校、3,993人
  - 中学校：7校、2,322人
  - 高等学校：5校、2,330人
  - 大 学：1校、912人



「酒田市ホームページ」より

# 1. 導入までの経緯

- ▶ 令和3年度 常勤SSWの配置。「ヤングケアラー実態調査」の開始
- ▶ 令和4年度 SSWによる全校訪問
  - ・「**貧困やケアラーといった困難を抱えていると思われる子どもに、学びの下支えをしてほしい**」という声あり。
  - ・ヤングケアラー全国調査（子ども本人調査）では、学校や大人にしてほしいこととして、「**話を聞いてほしい**」「**勉強を教えてほしい**」が上位にあがる。
  - ★「**子どもの権利**」という目線に立てば、「**子どもの声、子どもの意見表明権の保障**（子どもアドボカシーの拠り所）が大事。  
cf. イギリス「ヤングケアラーの16の権利」（1993年）  
特に、⑩自分の生活や自分の家族の生活に影響を与える決定がなされるときに、その話し合いに完全に入れてもらえて意見を聞いてもらえる権利（「子どもの意見表明権」）」

⇒ **公益活動団体との協働事業（提案）**

## 2. 協働事業の概要 (民間×大学×行政、3年後を見据えてプラットフォーム化『Flat』)

- ▶ 目的 **子どもの意見表明** (対話文化の醸成)  
→ **学校が安心安全な居場所に** (副産物)

- ▶ 取り組み (※3つを組み合わせ対話文化の醸成)

一次レベル：**校内居場所活動** (ふらっと来れてホッとする  
ノンバーバル的な意見表明)

二次レベル：**修復的対話サークル** (少し働きかけた、クラ  
スの雰囲気を整えたり予防的な形の意見表明)

三次レベル：**対話的支援** (人権に基づいたアプローチ：  
相談・支援における対話のあり方)

- ◎ ~R5経過報告~ ◎
- 4/12 市招集校長会  
(モデル校の募集)
  - 5/1 モデル校の決定  
→酒田市立富士見小学校へ
  - 9/1 校内居場所『ふらっと  
るーむ』の開設
  - 12/1 対話プログラム研修会  
の開催 (教職員対象)
  - 2/2 RJサークルの実施  
(1・2学年対象全クラス)

(注) 子どもの意見表明権とは、権利を行使できない状況 (例えば、うまく表現できない、訴える術を知らない) も考慮されて、子どもが自分の思いや意見を表明できることで、表現の自由とは異なります。

### 3. R Jサークルの実践報告 (2/2実施)

#### ▶ テーマ「イロ」

- ①あなたの今日の気持ちを「イロ」に例えると何色ですか。その理由も教えてください。
  - ②学校で過ごす好きな時間・うれしい時間を「イロ」で例えると何色ですか。その時間と理由も教えてください。
  - ③学校で過ごす苦手な時間・きらいな時間を「イロ」で例えると何色ですか。その時間と理由も教えてください。
  - ④今のクラスを「イロ」に例えると何色ですか。その理由も教えてください。
  - ⑤あなたはどんな「イロ」の学校で過ごしたいですか。その理由も教えてください。
- (予備) あなたがなりたい自分を「イロ」に例えると何色ですか。その理由も教えてください。
- (予備) あなたにとって大切な人に贈りたい気持ちを「イロ」に例えると何色ですか。贈りたい人と理由も教えてください。



## 4. 事後アンケート結果

【1学年】 アンケート回答者41名（参加者44名）

1. RJサークルは楽しかったですか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
36	4	0	1	0	0

2. RJサークルをまたやってみたいと思いますか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
37	3	1	0	0	0

3. 自分の話をすることができましたか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
35	5	1	0	0	0

4. 自分の話をよく聞いてもらえたと思いますか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
32	7	1	0	1	0

5. 他の人の話を聞くことができましたか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
31	6	4	0	0	0

6. 他の人の知らないところを知ることができましたか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
31	6	3	0	1	0

7. RJサークルを通じて思ったこと、考えたことを自由に書いてください

8. その他、何でも自由に書いてください

- ・〇〇さんがおしえてあげたりぼくのこときいてくれてうれしかったです。
- ・またいっしょにやりたい。みんなのことをしれてうれしかった。
- ・みんなではなしあったのしかった。
- ・みんないろんなことをかんがえててすごかったです。
- ・いろんな人がいっばいいいたのしかった。
- ・いろんな人のかんがえがわかってうれしかったです。
- ・いっばいはなして、もう一回したいなあ！
- ・ともだちのひみつをしれた。
- ・おりがみのいろでしつもんされたことをいえた。
- ・6年生になってもやりたいです。
- ・ともだちの知らないところをしてびっくりした。
- ・いろんなことがしれた。
- ・おともだちのすきなところをすることでできてうれしかったです。
- ・なんのべんきょうをがんばっていますか。
- ・なにをしていますか。
- ・〇〇ちゃんがさいごしゃべられなかったからかわいそうだった。
- ・おともだちがこんなことおもってたのかあっておもった。
- ・こんなこととかするんだなあとおもいました。
- ・RJサークルのおしごとたいへんですか？

【2学年】アンケート回答者48名（参加者53名）

1. RJサークルは楽しかったですか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
41	6	1	0	0	0

2. RJサークルをまたやってみたいと思いますか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
40	4	3	0	0	1

3. 自分の話をすることができましたか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
37	6	4	1	0	0

4. 自分の話をよく聞いてもらえたと思いますか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
37	8	3	0	0	0

5. 他の人の話を聞くことができましたか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
38	6	3	0	0	1

6. 他の人の知らないところを知ることができましたか

5 (とても)	4 (まあまあ)	3 (ふつう)	2 (あまり)	1(まったく)	0 (不明)
36	7	5	0	0	0

7. RJサークルを通じて思ったこと、考えたことを自由に書いてください

8. その他、何でも自由に書いてください

- ・ほかの人の本当の気もちを知れてよかったです。色であらわすと分かりやすかったです。
- ・みんなぼくとちがういけんがいっぱいあった。
- ・〇〇さんはとてもやさしい人だと思いました。
- ・先生たちがすきな色とか、きもちってそうなんだ、ていうことがわかりました。
- ・人のことをしれて、うれしかった。
- ・いろんな人とであって、話すのが楽しかったです。
- ・もやもやを話すと、こんなにすっきりするんだと思いました。
- ・〇〇さんのもやもやの色やたのしいときの色が分かってよかった。
- ・こんなに思っていることを言えるのはびっくりしました。
- ・おり紙でこんな色いろな気もちがつたわるとわかりました。
- ・わたしのことをすこしでもしてもらえた。
- ・みんなも、しっかりと人の話をきいてていいなと思った。とても楽しかった。
- ・たくさんの人と友だちになれそうだなあと思いました。とても楽しかったです。
- ・みんなの気もちがしれた。みんなやさしくしてくれた。
- ・はじめてやったけどたのしかったな。おりがみでそんなことができたんだな。
- ・きれいなことやたのしいことがあるんだなあ。
- ・自分いがいにすごい考えの人が多くてよかった。
- ・話をきいてくれた。
- ・自分が思っていることをはなせてよかった。

## (参考) 教職員研修参加者の感想 (12/1実施)

- ・ 職業の違いなど関係なく、人と人として話せたと思う。
- ・ 正解なく、どの発言も受け入れられる場で、子どもたち自身が友達と対話を楽しめることがとても大切だと感じました。
- ・ 普段なかなか知らない相手のことを知れる機会になると思いました。子どもたちにもこのような対話の機会を多く設けることで、自分を知る、他者を知る、自分を安心して表現する、異なる価値観に触れ、多様性を受け止める経験を重ねていけたらよいと感じました。
- ・ はじめてお会いした人たちとRJサークルを通して自己開示と他者理解を図ることができました。ただただ聞いて頂いて心と気持ちがゆっくりしました。
- ・ お互いのことがわかり合えると、人間関係が深まり、さらによい関係、望ましい集団になると思います。
- ・ ただ聴く、話すというのに貴重な経験でした。普段子どもたちとの関わりの中で、感覚的に意識している（しようとしている）ことが、体系的な手法として確立していることを知ることができて、目からウロコという感じでした。
- ・ 今まで対話は、簡単なようできていなかったなと感じました。
- ・ 自分の話を聞いてくれているんだと凄く実感しました。だからこそ、自分も相手の話を聞かないとは思いました。自分の学校でも実践していきたいです。
- ・ 自分の気持ちを表現しても否定されない安心感がありました。話すことが少し楽しくなりました。
- ・ RJサークルの効果にある自己理解や自己表現、他者受容、他者理解の点でバリエーション豊かに展開できそうと期待がもてました。

ご清聴ありがとうございました。



杉山義法 sugi555jp@gmail.com

